

笛吹市環境基本計画 平成30年度取り組み進捗状況について

■笛吹市環境基本計画とは…

笛吹市環境基本計画は、笛吹市の自然を次世代へと受け継ぎ、幅広い環境問題に対応していくため、市民・事業者・行政などすべての主体が連携し、総合的かつ計画的に取り組を進めていくための具体的な目標や期間を定めたもので、市の環境に関する取り組みについて最も基本となる計画です。計画期間は平成23年度から32年度までの10年間で、笛吹市が目指す環境像「清流と緑の大地 桃源郷 未来につなぐ 笛吹市」の実現を目指しています。

■平成30年度取り組み進捗状況について…

環境像実現のために環境目標と施策が定められており、取り組み進捗状況を毎年度公表することとなっています。進捗状況の点検・評価については、定量的な指標として設定されている「環境指標」の「基準値（計画策定時の現状値）」と「平成30年度の現状値」を比較して行いました。

平成30年度取り組み進捗状況については別表のとおりです。

【別表の見方】

①環境指標の種類

- 「●成果指標」・・・目標への到達度を表す指標
- 「○取り組み指標」・・・目標達成に向けた取り組みの進捗状況を表す指標
- 「△モニタリング指標」・・・経年変化を把握するための指標（目標設定なし）

②進捗状況の見方

- 「○」・・・（基準値より）改善された。 「→」・・・基準値維持
- 「▲」・・・（基準値より）改善が見られなかった。 「空欄」・・・H30数値なし

③コメント欄

主な環境指標について、コメントを記載しています。

平成30年度の結果は次のとおりです。

改善がされた指標は152項目中48項目で全体の31.58%となり、平成29年度実績の55項目(36.18%)より下回ってしまいました。

「○」	（改善がされた指標）	・・・	48項目
「▲」	（改善が見られなかった指標）	・・・	64項目
「→」	（基準値維持の指標）	・・・	18項目
「空欄」	（現状値なしの指標）	・・・	22項目

*平成27年度に環境基本計画を見直し、環境指標項目数の増減があったため、平成27年度以前と平成28年度以降で項目の比較が出来なくなりました。

富吹市環境基本計画 平成30年度取り組み進捗状況

●：成果指標 目標への到達度を表す指標
○：取り組み指標 目標達成に向けた取り組みの進捗状況を表す指標
△：モニタリング指標 継続的に数値をモニタリングし、状況の経年変化を把握する指標

進捗状況の見方(基準値と現状値の比較)
○ 改善が見られた
▲ 改善が見られなかった
△ 基準値維持
空欄 H30取組なし

環境目標	環境要素	環境指標	単位	基準値	H23実績	H24実績	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	目標(H32)	現状値(H30実績)	進捗状況	備考(根拠数、参考資料)	コメント		
1-1 農地・果樹園	豊かな自然を守り動物と共生するまち	「農地や土の親しみやすさ」に満足している市民の割合	● %	59.1	—	—	—	—	—	—	—	71	—	未実施		「農用地面積」については、農林総合推進部にて実施し、市報が随時更新されないよう注意している。		
		農用地面積	● ha	3,587	3,559	3,545.0	3,531.0	3,518.0	3,516.0	3,279.0	3,277.5	3,587	3,275.9	▲		「エコファーマー」は市内において山梨GAPへと移行しており、地域によっては農産物産出GAPへと移行しているため減額している。		
		耕作放棄地の面積	● ha	171	169	169	169	268	232	197	211	120	204	▲	H30利用状況調査(2023.09)			
		農地/トロール実施回数	○ 回	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	1	→			
		新しく耕作を始めた人数、耕作希望者数	○ 人	38	3	39	40	41	36	28	56	41	46	○				
		学校給食において地元農産物を使用する割合	○ %	12	13	13	14	14	15	15	22	20	22.4	○			山梨GAP認定者 H23 個人4 法人3 団体4(23名) H30 個人14 法人1 団体2(16名) また、認定農業者については、ほぼ現状を維持している。	
		農業体験・交流イベント開催数	△ 回	2	4	2	1	0	0	0	0	0	—	0	▲	H30未実施		
		参加者数	△ 人	100	153	110	104	0	0	0	0	0	—	0	▲	H30未実施		
		農業学習会、セミナーの開催回数	△ 回	20	20	26	27	26	27	0	25	—	25	○				
		参加者数	△ 人	600	648	602	864	730	775	—	537	—	399	▲			農業支援センター報告資料より	
		市民農園の面積	△ m ²	9,412	8,918	9,412	5,525	5,525	8,445	8,445	8,445	—	8,445	▲				
		エコファーマー認定者数(※1)	△ 人	1,873	1,765	1,762	2,669	2,700	2,251	2,287	2,373	—	1,250	▲			新規認定者133人(農業事務所より)	
		認定農業者数	△ 人	526	517	550	628	710	833	930	944	—	931	○				
		1-2 森林	豊かな自然を守り動物と共生するまち	「水や水辺との親しみやすさ」に満足している市民の割合	● %	77.3	—	—	—	—	—	—	—	93	—	未実施		「林野整備や低層林に設置して適正な林地管理に努めている。また、富吹市の自然環境を誇る森林、水や水辺が市民の生活や財産を守るために、CO2を吸収して地球温暖化を防止する役割を担っている。環境教育を推進しているため、更なる保全を努めている。
				林野面積	● ha	11,836	11,836	11,819	11,819	11,819	11,819	11,819	11,819	11,819	11,836	11,819	▲	
林業体験の実施学校数	○ 校			9	0	0	0	0	0	0	0	0	—	1	▲		平日日中による学校林整備	
参加生徒数	○ 人			255	0	0	0	0	0	0	0	0	—	80	▲			
森林体験の実施回数	△ 回			3	1	1	1	1	1	1	1	—	1	▲			プレゼンツリーの協力	
参加者数	△ 人			200	150	150	120	110	120	120	125	—	125	▲				
森林経営計画認定面積	△ ha			1,945.69	1,962.05	1,961.98	1,961.98	2,539.60	2,539.60	2,539.60	2,539.60	—	2,539.60	○				
森林保全整備事業実施面積(累計)	△ ha			323	323	323	323	323	323	323	323	—	323	→				
間伐面積(累計)	△ ha			233.61	276.58	280.58	280.58	282.83	282.83	282.83	282.83	—	282.83	○				
植樹面積(累計)	△ ha			57.22	66.33	67.23	67.23	67.63	67.93	67.93	67.93	—	67.93	○				
林野面積のうち長有林面積	△ ha			7,380.92	7,380.92	7,035.85	7,035.85	7,035.85	7,035.85	7,035.85	7,035.85	—	7,035.85	▲				
保安林面積(水源地・重要保安林)	△ ha			5,942.18	5,942.18	6,189.00	6,189.00	6,189.00	6,189.00	6,189.00	6,189.00	—	6,189.00	○				
1-3 河川・水辺	豊かな自然を守り動物と共生するまち			「水や水辺との親しみやすさ」に満足している市民の割合	● %	40.2	—	—	—	—	—	—	—	52	—	未実施		「アダプトプログラムの登録数は8団体。その内団体は富吹川周辺の清掃を実施している。今後も各団体からボランティア取組等の申し込みがある場合は、登録促進を行ってきたい。
				多自然工法を導入した事業件数	○ 件	2	0	1	0	0	0	0	0	1	0	▲		
				アダプトプログラム登録団体数(水空間の整備)※2	○ 団体	3	3	3	3	2	3	2	2	7	2	▲		川中島老人クラブ 株式会社ウツワニ
		登録人数	○ 人	77	91	56	93	92	98	84	76	117	72	▲		「河川に親しみを持ってもらう」と、推進部にて「ルネサンス」を推進している。		
		河川の清掃活動実施回数	△ 回	2	4	4	4	4	4	3	2	—	3	○			「土手や河川内の雑草・ゴミの除去などを行い、河川美化に努めている。アダプトプログラムに所属していない組織も河川清掃に積極的に参加している(例:金川浄水場建設局)。	
		参加人数	△ 人	200	661	734	696	623	663	430	325	—	398	○				
1-4 動植物・生態系	豊かな自然を守り動物と共生するまち	特定外来種に関する広報回数	○ 回	0	0	0	0	1	1	1	0	0	→				「農作物への被害状況の情報を収集し、及び地区農会と連携し効果的な対策を実施し、農産物と人間の安全を確保する方針を明確に検討している。また、平成30年度から自然環境防止総合対策推進事業を活用し、積極的な取組に取組んでいる。	
		鳥獣保護区の指定数	△ 箇所	2	2	2	2	2	2	2	2	—	2	→				
		面積	△ ha	15.49	15.49	15.49	15.49	15.49	15.49	15.49	15.49	—	15.49	→				
		自然環境保全地域の指定数	△ 箇所	4	4	4	4	4	4	4	4	—	4	→				
		面積	△ ha	30.63	30.63	30.63	30.63	30.63	30.63	30.63	30.63	—	30.63	→				
		動植物に関する天然記念物の件数(県)	△ 件	8	7	7	7	7	7	7	5	—	7	▲			富吹市指定文化財一覧	
		(市)	△ 件	35	35	35	33	33	32	32	32	—	31	▲				
		野生動物の被害等に関する被害件数(苦情件数)	△ 件	27	12	35	33	30	37	32	36	—	40	▲				
		農作物被害防止に向けた有害鳥獣駆除実施回数	△ 回	27	9	35	33	30	37	32	36	—	40	○				
		駆除数	△ 頭	627	615	875	826	948	843	855	1,055	—	1,187	○			シカ378、イノシシ120、猪1、カラス等87、ハクビシ33	
1-5 自然上のふれあい	豊かな自然を守り動物と共生するまち	観察・発見された特定外来種の団体数	△ 頭	2	2	4	0	3	0	0	14	—	33	○			アライグマ捕獲数	
		「生き物とのふれあいやすさ」に満足している市民の割合	● %	45.6	—	—	—	—	—	—	—	—	55	—	未実施			
2-1 大気環境	豊かな自然を守り動物と共生するまち	自然観察会等のイベント開催数	○ 回	0	1	0	0	0	2	1	0	1	1	○			農村振興課:1回 金川の森で自然観測会	
		「空気のきれいさ」(車の排気ガス、悪臭等)に満足している市民の割合	● %	58.1	—	—	—	—	—	—	—	—	70	—	未実施		「プラスチック等の回収量」については、省資源定率を達成している。今後更なる削減を推進していききたい。	
		プラスチック等の回収量	○ t	271	276	286	259	255	257	262	358	280	359	○			その他プラスチックの収集	
		プラスチック等の適正処理周知、指導回数	○ 回	86	57	43	27	24	31	52	26	90	9	▲			分別説明会の回数	
		大気汚染に係る環境基準(NOX年平均値)達成率(%)	△ %	0.022	0.010	0.012	0.018	0.017	0.016	0.014	0.014	—	0.012	○			野焼き、悪臭への苦情は原因別に適切な指導を行っている。また、広域汚染などにより悪臭発生等の常時監視結果に基づいて、より	
		大気汚染に係る環境基準(年平均値)達成率(%)	△ %	0.013	0.020	0.018	0.020	0.016	0.018	0.016	0.016	—	0.015	▲			野焼き、悪臭への苦情は原因別に適切な指導を行っている。また、広域汚染などにより悪臭発生等の常時監視結果に基づいて、より	
		空間放射線測定結果(年平均値)	△ μSv/h	—	0.056	0.053	0.061	0.063	0.062	0.065	0.050	—	0.051	○			大気汚染に係る環境基準の「平成10年度大気汚染状況の常時監視結果」に基づいて、より	
		畜産農家に対する悪臭の指導回数	△ 回	1	1	1	1	0	1	0	2	—	2	▲			「地肥等、農薬に関する悪臭」については、近隣の農家や畜産農家を指導することにより減少している。	
		工場・事業場における悪臭の指導回数	△ 回	3	1	2	2	4	1	6	2	—	5	▲			農林所管苦情台帳:1件 支所:1件	
		「野焼き」に関する苦情件数	△ 件	63	34	52	58	62	39	85	46	—	65	▲			農林所管苦情台帳:14件 環境所管野焼き台帳:41件 支所:10件	
「悪臭」に関する苦情件数	△ 件	35	12	22	26	22	26	14	19	—	24	○			環境所管苦情台帳:20件 支所:4件			

備考

項目	環境要素	環境指標	単位	基準値	H23実績	H24実績	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	目標 (H32)	現状値 (H30実績)	推移 状況	備考 (根拠数字、参考資料)	コメント		
市民生活の向上	2-2 水・土環境	「水のきれいさ(河川・水路や池沼等)」に満足している市民の割合	● %	34.2	—	—	—	—	—	—	—	51	—	▲	未実施	公共下水道の整備に伴い、生活排水処理率及び下水道処理人口は年々増加している。今後下水道加入促進を図り、下水道への接続をお願いしていく。		
		富吹川のBOD平均値(直近3カ年) ⁽²⁸⁾	● mg/ℓ	1.03	0.93	1.30	1.31	1.30	1.00	1.16	1.15	1	1.05	▲	県大気水質保全課公表の「富吹川水質調査結果資料」より			
		水質基準達成項目比率	● %	84	86	73.3	79.1	89.3	84.8	84.8	83.8	92	89.2	○				
		地下水に係る環境基準の達成地点の割合(井戸水)	● %	85.4	87.3	92.8	85.5	89.7	86.2	86.2	82.7	94	86.2	○				
		生活排水処理率	○ %	70.5	70.7	71.5	74.3	75.2	74.3	77.1	77.5	81.8	81.3	○				
		公共下水道処理人口	○ 人	41,440	42,011	42,311	43,167	44,480	44,627	45,506	45,596	48,937	46,175	○				
		公共下水道処理人口普及率	○ %	58	59	58.8	60.6	62.8	63.2	64.8	65.3	72	66.1	○				
		合併浄化槽設置済人口	○ 人	7,831	8,419	8,690	9,295	8,389	8,432	9,243	9,854	11,681	9,993	○				
		農業集排水処理人口	○ 人	515	473	443	416	406	389	372	389	—	339	▲				
		生活道路・水路の整備に関する市民満足度	△ %	55.7	50.4	47.1	45.6	—	—	—	—	—	—	—	▲	未実施		
		地下水に係る環境基準の達成地点の割合(上水道用)	△ %	100	100	100	100	100	100	100	100	—	100	→				
		広報紙による啓発	△ 回	4	4	4	4	2	1	8	6	—	1	▲		下水道課:1回		
		工場や事業者に対する指導回数	△ 回/年	7	5	4	11	18	6	12	10	—	11	▲		環境所管情報台帳:11件		
		環境で安心できる暮らし	2-3 廃棄物	「日常生活から発生するごみの処理のされ方」に満足している市民の割合	● %	51.4	—	—	—	—	—	—	—	55	—	▲	未実施	
1人1日当たりのごみ排出量(生活系ごみ)	● g/人・日			667.5	666.3	669.7	663.8	667.6	664.3	654.0	600	500	622	○		H29年度までは一部事務組合事務、H30年度は一部事務組合調査と甲府・峡東ごみ処理施設事務組合からの報告数値をもとに算出	H29年度から富吹市指定区域へ対応した。導入前に比べると1人1日当たりのごみ排出量(生活系ごみ)は減少しているが、平成30年度は排出量と比べると若干の増加が見られた。住民の分別に対する意識を高めるために、今後も各種啓発に力を入れていきたい。	
ごみ燃焼量	● t			25,849	25,229	25,052	24,630	25,047	25,099	24,745	24,197	24,500	24,848	○				
生活系可燃ごみの減量率(対基準年度対比年度)	● %			29	28	28	30	30	30	30	30	40	55	39	○		H30年度一般廃棄物処理費監査より	一般廃棄物の処理業者については那珂が許可を出しており、2年間に1回の更新時に担当を行って、また、町会団体の意見交換会を行っている。
リサイクル率	● %			21	21	20	19	19	19	18	21	30	20	▲				
容器包装廃棄物分別収集量	● t			271	276	266	259	255	257	262	280	280	359	○				
容器包装分別収集量(新聞・雑誌・ダンボール・ミックス紙)	● t			2,912	2,641	2,079	1,946	1,848	1,691	1,920	1,936	3,000	1,827	▲				
資源物の導入量(可能)	● t			7,755	7,274	6,868	7,635	7,765	6,526	6,434	7,458	7,650	4,842	○				
〃 (不燃)	● t			1,290	993	745	714	638	520	513	526	600	314	○				
「買ひ物の際のレジ袋利用抑制」にいつも取り組んでいる市民の割合	○ %			85	85	84	84	84	84	84	84	90	85	▲			県エネルギー政策課公表の「マイバッグ等の持参率・レジ袋削減効果の集計結果について」より	
資源物回収奨励会登録団体数	○ 団体			132	132	132	132	132	132	132	132	138	132	→				
資源物回収奨励会長録団体の資源物回収量	○ kg			3,076,639	2,725,607	2,687,217	2,528,204	2,930,747	2,797,303	2,554,725	2,484,070	3,200,935	2,424,627	▲			資源物回収奨励会より	
生ごみ処理機購入助成件数	○ 件			198	95	103	54	84	51	61	88	210	63	▲				
一般廃棄物許可業者説明会開催数	○ 回			0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	→				
廃食油回収量(市で回収したもの)	○ t	12,255	18,133	16,879	11,088	17,328	13,345	13,461	10,941	14,500	11,978	▲			台帳/廃食油回収先及び回収量より			
廃食油からの年間バイオディーゼルの精製量	○ t	3,300	8,400	12,000	11,000	5,200	2,000	1,000	—	13,000	—	—			H28年度で事業終了			
ごみ減量・資源化の意識啓発イベント開催回数	○ 回	86	57	43	27	24	31	52	26	90	9	▲			分別説明会の開催			
廃棄物処理施設・現場見学会開催回数	○ 回	0	1	0	0	0	0	0	1	1	0	→						
〃 参加人数	○ 人	0	9	0	0	0	0	0	15	10	20	0	→					
ごみ収集カレンダー配布数(累計)	△ 枚	31,000	35,000	37,000	39,000	40,000	41,000	42,000	43,000	—	43,700	○						
身近な生活環境	2-4 身近な生活環境	「まちの静けさ(騒音や振動)」に満足している市民の割合	● %	80.5	—	—	—	—	—	—	—	73	—	▲	未実施		騒音測定における環境基準の達成地点の割合は上昇傾向にある。	
		騒音測定における環境基準の達成地点の割合	● %	82.3	93.7	98.1	99.3	98.7	97.8	97.8	98.3	99	98.5	○		自動車騒音調査より	ここ最近では生活環境に対する騒音の関心が増加傾向にある。	
		「騒音・振動」に関する苦情件数	△ 件	14	9	25	10	15	12	14	27	—	30	▲		豊林所管情報台帳:1件 環境所管情報台帳:27件 支所:2件		
		工場や深夜営業店舗等に対する指導回数	△ 回/年	5	0	1	1	2	4	8	7	—	7	▲		環境所管情報台帳:7件 (真弓車庫含む)		
公園・緑地	3-1 公園・緑地	市民一人当たりの緑地面積	● m ²	8.6	8.6	8.6	8.8	8.9	9.6	9.6	9.7	9.10	10.3	○			緑川公園緑地整備に伴い公共緑地の公園としての整備が完了したことにより、緑地面積が増加した。	
		公園・緑地数	● 箇所	19	19	19	19	19	20	20	25	22	27	○			緑川緑地・金川公園が増加した。	
		都市公園数	● 箇所	6	6	6	7	7	7	7	6	8	6	→			1箇所が公共施設建設のカーブを伴い、緑地促進と車の御電装に取り替えた。	
		公共施設における緑のカーテン実施数	○ 箇所	3	41	41	38	31	32	32	32	32	18	○		学校(7)・保育園(9)・児童館(1)・支所(1)		
		身当たり自然ふれあふことができると感じている市民の割合	△ %	70.7	69.7	73.4	68.3	—	—	—	—	—	—	—	▲	未実施		
		公園を利用している市民の割合(H27-)	△ %	35.9	38.6	39.1	38.9	—	—	—	—	—	—	—	▲	未実施		
歴史・文化的環境	3-2 歴史・文化的環境	都市公園面積	△ ha	37.25	37.25	37.25	38.68	37.25	37.25	37.25	37.20	—	37.20	▲				
		市の文化遺産や地域の文化に繋がったことがある市民の割合	● %	43.9	22.7	55	45	—	—	—	—	—	57	—	▲	未実施		
		文化財を活用したイベントの開催数	○ 回	3	3	8	4	7	6	29	21	8	4	○		文化財巡り:3回 自然観察会:1回	主催事業は減少しているが、市民団体主催のイベント協力は増えている。	
		〃 参加者数	○ 人	230	250	232	684	510	712	702	721	570	70	▲				
		文化施設(郷土館等)を活用した企画展・特別展・イベント参加者数	○ 人	7,635	3,315	7,700	5,892	6,958	7,388	6,998	7,097	7,068	6,731	▲		平日展2853人、入館2463人、資料展前編1391人、入館225人	市所共有の展示活用イベントが中心のため参加者が伸びない。	
		〃 開催数	△ 回	8	8	8	8	12	22	19	21	—	38	○		多摩川土曜12回、豊林美術館1回、八田美術館1回、八代郷土館2回(市民団体の企画含む)	市民団体の企画を取り込んでイベントを増やしている。	
		伝統芸能継承団体数	△ 団体	11	11	11	11	11	11	11	11	—	11	→			無形文化財継承団体数8 未継承民俗芸能継承団体数3	地域、氏子で団体の維持を行っている。
		登録文化財数	△ 件	3	3	4	4	4	4	5	5	—	5	○				
		指定文化財数	△ 件	218	216	215	213	213	211	212	211	—	211	▲				
		うち国指定文化財数	△ 件	15	15	12	12	13	13	13	13	—	13	▲			富吹市指定文化財一覧	新規指定指定案件が無い
うち県指定文化財数	△ 件	66	64	63	63	63	63	64	63	—	63	▲						
うち市指定文化財数	△ 件	138	139	139	137	137	135	135	135	—	135	▲						
国土景観	3-3 国土景観	「木々の緑の豊かさ」に満足している市民の割合	● %	77.3	—	—	—	—	—	—	—	83	—	▲	未実施			
		電線杆地中化の整備延長	△ m	2,779.3	2,779.3	2,779.3	3,702.5	3,702.5	3,702.5	3,702.5	2,472.7	—	2,492.5	▲		時点修正		

環境目標	環境要素	環境指標	単位	基準値	実績値										目標 (H32)	現状値 (H30実績)	進捗 状況	備考 (複数数字、参考資料)	コメント	
					H23実績	H24実績	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H30実績	H31実績	H32実績						
3-4 まちを 変え、 暮らしの マナー モラル		「まちの清潔とキレイにみえる散乱など」に気づいている市民の割合	● %	40.7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	50	—	未実施		不法投棄対策として市内の環境(トイレ)を実施している。不法投棄の件数は昨年度よりも更に増加しており、モラルの低下が懸念される。広報誌やチラシ等で呼びかけを強化して(必)も必要である。また、春大生や回収できない(家電)リサイクル品やイヤホン/ヘッドホンの不法投棄を重点的に取り扱う。特別回収を行っている。		
		公民館や市民会館が「市民生活」に気づいている市民の割合	● %	49.3	48.8	49.4	51.7	—	—	—	—	—	—	60	—	未実施				
		アダプトプログラム登録団体数(水空間の整備含む) ^{※1}	○ 団体	19	17	14	12	11	12	10	10	10	22	9	▲					
		登録人数	○ 人	581	507	398	418	414	416	431	420	420	750	308	▲					
		清掃活動の参加者数	○ 人	1,830	1,890	1,840	1,850	1,830	1,850	1,860	420	2,050	308	▲						
		賞状授与イベントの開催回数	○ 回	86	57	43	27	24	31	52	26	90	9	▲					分別説明会の回数	
		参加者数	○ 人	2,650	1,629	1,390	800	700	900	1,000	995	2,700	340	▲						
		花の普及団体数	○ 団体	61	65	65	63	73	73	87	83	100	81	○						
		パトロール実施日数	△ 日	240	240	240	240	240	240	240	240	—	240	→						
		不法投棄の発見報告件数	△ 件	290	456	217	184	187	173	213	351	—	356	▲					不法投棄回収台帳より	
		不法投棄物処理件数	△ 件	287	441	208	176	182	151	195	310	—	339	▲						
		「不法投棄」に関する苦情件数	△ 件	18	3	3	7	14	7	19	46	—	55	▲					環境所管苦情台帳:37件 支所:18件	
「安全地や耕作放棄地の雑草」に関する苦情件数	△ 件	46	61	68	64	73	90	200	188	—	194	▲					環境推進課:93件 農業委員会:84件 支所:17件			
空地等の管理人に対する指導件数	△ 回	39	59	65	61	56	86	172	167	—	148	▲					環境推進課:58件 農業委員会:84件 支所:6件			
音楽看板の配布件数	△ 件	35	122	120	147	82	89	56	28	—	154	▲								
4-1 地球温暖化 の低減		市営バスの利用者数	● 人	28,668	29,500	27,051	26,617	23,788	23,627	24,151	23,440	31,534	23,361	▲					市営バスを構成する3路線の平成30年度の状況は次のとおりである。 ①市営一宮線バスの利用者が減少した。 ②市営バスを構成する路線のうち、甲斐方面バスを削減して通学などの便が減少した。 ③市営バスを構成する路線のうち、甲斐方面バスを削減して通学などの便が減少した。	
		住宅用太陽光発電システム補助金交付件数(累計)	○ 件	253	806	1,248	1,522	1,732	1,857	1,954	2,042	2,932	—					H29年度末で事業終了		
		環境会計導入提出件数	○ 件	47	13	23	44	30	73	91	50	57	35	▲					県エネルギー政策課より	
		LED照明導入小中学校数	○ 校	0	0	0	0	3	6	4	4	19	4	○					体育館:御坂西小・春日小 公民館:東御坂、遠川	
		自転車交通の利用者数	○ 人	3,600	3,600	5,058	6,887	5,784	7,798	8,449	8,046	14,900	7,980	○						
		公用車へのエコカーの導入台数	○ 台	42	59	71	90	109	122	128	124	145	118	○					ハイブリッド車1台導入	
		環境学習の一環として簡易測定を実施している小中学校数	○ 校	6	6	7	8	9	10	10	10	10	12	3	▲					
		幹線道路沿線が整備され移動しやすいまちとされている市民の割合	△ %	54.3	45.5	44.3	41.5	—	—	—	—	—	—	—	未実施					
		鉄道やバスが利用しやすいまちだと感じている市民の割合	△ %	19.9	15.8	12.5	14.6	—	—	—	—	—	—	—	未実施					
		JR石和駅(旧)日当り乗降者数	△ 人	5,338	5,176	5,132	5,596	5,570	5,692	5,662	5,922	—	5,956	○						
		地球温暖化対策に関するキャンペーン実施回数	△ 回	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	→					市民まつり	
		5-1 環境教育 の推進		「学校や地域社会における環境教育の実践」に満足している市民の割合	● %	43.4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	50	—	未実施		
みどりの少年少女隊編成数	● 団体			9	8	8	9	9	9	9	9	10	9	→						
環境学習イベント開催数(子ども環境教室、環境ポスター展)	○ 回			2	7	6	6	6	7	5	3	7	7	○					石和南小(2)・石和夏小(2)・市川小(2)・市民まつり(1)	
やまなしエコリーダーによる出前講座開催小中学校数(累計) ^{※4}	○ 校			0	1	3	6	9	12	10	2	19	3	○					市民まつりでエコリーダーの個別説明を行い、親子で楽しみながら環境について学習できる場を創出。	
環境年次報告書の公表回数	○ 回			0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	○						
環境推進回数(学校)	○ 冊			3,521	3,521	3,521	3,521	3,521	3,521	3,550	3,550	3,555	3,550	○						
「(市立) 環境推進回数(学校)」	△ 冊			2,125	2,067	2,087	2,106	2,153	2,141	2,151	2,160	—	2,148	○						
河川環境および林業体験実施回数	△ 回			3	0	1	1	1	1	1	1	1	1	▲						
「エコ活動」に取り組んでいる市民の割合	● %			82.4	78.3	77.6	77.2	—	—	—	—	—	88	—	未実施					広報誌に毎月「環境NEWS」を掲載し、環境を推進しているが、環境保全への意識向上を図るため、更に内容を充実させていきたい。
環境に関する広報特集記事数	○ 件/年			0	1	0	1	0	0	1	1	1	0	→						
環境に取り組む個人・団体等の活動成果紹介した広報記事数	○ 件/年			9	10	13	6	4	3	1	1	12	1	▲						森林整備協定締結記事
環境保全に関するNPO法人数	○ 団体			2	3	4	5	5	5	4	5	11	7	○						経済省HPより(国吹市に拠点を置くNPOのうち活動分野が環境を含むもの)
市が主催する、各主体の交流イベント開催数	△ 回	2	2	2	2	5	5	2	1	—	1	▲					市民まつり			
市役所におけるグリーン購入物品数(パンフレットコピー用紙) ^{※5}	△ %	—	100	100	100	100	100	100	100	100	100	▲								

環境指標を、①改善が見られたもの、②改善が見られなかったもの、③基準値維持、④事情により数値なしの4種類に区分けしました。

平成30年度は……

152項目中、改善された項目は、48項目(31.58%)となりました。

進捗状況	平成28年度		平成29年度		平成30年度	
	項目数	割合	項目数	割合	項目数	割合
	① ○ 改善が見られた	63	41.45%	55	36.18%	48
② ▲ 改善が見られなかった	54	35.53%	60	39.47%	64	42.11%
③ — 基準値維持	16	10.53%	18	11.84%	18	11.84%
④ □ 空欄 H30年度なし	19	12.50%	19	12.50%	22	14.47%
合計	152	100.00%	152	100.00%	152	100.00%

(注) ※1～5についての用語の意味は次のとおりとなります。

- ※1 エコファーマーとは…持続性の高い農業生産方式の導入の促進に関する法律に基づいて認定された農業者。都道府県が定める指標に基づいて、持続性の高い農法とされる確認と上づくり、化学肥料・農薬削減技術を組合せて農業生産を行う人です。
- ※2 アダプトプログラムとは…アダプトとは英語で「〇〇を養子にする」の意味。河川など公共の場所を養子に見て、市民団体が養子の子のように愛情を持って清掃美化を行い、行政がこれを支援する制度です。
- ※3 BODとは…生物化学的酸素要求量のことで、これは、微生物が有機物を食べるために使った酸素の量のこと、川の汚れを調べる目安として使われています。値が大きくなればなるほど、水質が悪いことを示します。
- ※4 エコリーダーとは…山梨県が、県民の環境の保全及び創造に関する知識の普及啓発及び意識の増進を図るため、地域や学校等で開催される研修会や講演会、現地指導会等に、専門的な知識や豊富な経験を有する者を派遣する制度です。
- ※5 グリーン購入とは…購入の必要性を考慮し、品物や価格だけでなく環境のことを考え、環境負荷ができるだけ小さい製品やサービスを環境負荷の低減に努める事業者から優先して購入することです。